

べっふ 市議会だより

2015.11.1

No.126



別府の秋

CONTENTS

- P 2～3 議決内容(補正予算、条例の制定・改定、意見書等)
- P 4 議案質疑(ホームページリニューアル・亀川駅西口広場整備事業)
- P 5 常任委員会審査
- P 6～11 一般質問(15名が市政を問う)
- P 12 市民と議会との対話集会

●●● 平成27年第3回(9月)定例会 ●●●

9月定例会は、補正予算や条例案件などの39議案が上程され、提案理由の説明、議案質疑、所管の常任委員会の審査の後、採決の結果、すべて原案のとおり可決等されました。

また、追加上程された「平成26年度別府市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定」については、決算特別委員会が設置され、継続審査することといたしました。

主な内容は以下のとおりです。

補正予算

◎平成27年度別府市一般会計補正予算

補正予算の主な内容は次のとおりです。

◇産業連携・協働プラットフォーム設置調査研究に要する経費 2570万円

◇産業連携・協働プラットフォーム【B-biz LINK】設立のための調査研究

◇情報推進管理運営に要する経費 1071万3千円

◇公式ホームページ再構築委託料

◇亀陽泉建設に要する経費 2767万円

◇亀川駅西口駅前広場整備に要する経費 2893万2千円

◇亀川駅西口駅前広場の用地購入費・物件移転補償費など

◇山田関の江線外道路整備

に要する経費

1億8857万8千円

◎亀川駅西線の用地購入費・物件移転補償費など

◎平成27年度別府市国民健康保険事業特別会計、競輪事業特別会計、公共下水道事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計補正予算

◎前年度決算に伴う繰越金の計上など

決算認定等

◎平成26年度別府市水道事業剰余金の処分及び平成26年度別府市水道事業会計決算の認定について

◎平成26年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について及び平成26年度各特別会計歳入歳出決算の認定について

(継続審査)

条例の改定等

◎別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の制定について

◎別府市職員の再任用に関する条例等の一部改正について

◎別府市特別職報酬等審議会条例の一部改正について

◎別府市手数料条例の一部改正について

◎別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について

◎別府市奨学金に関する条例の一部改正について

◎別府市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の制定について

◎別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について

◎別府市空家等対策条例の制定について

人事

次の方を、選任することについて同意を与えることといたしました。

◇別府市副市長 猪又 真介

◇別府市教育委員会教育長 寺岡 悌二

◇別府市職員懲戒審査委員会委員 黒木愛一郎

荒金 卓雄
小野 正明
豊永 健司
工藤 将之

◇別府市人権擁護委員 渡邊 明子

その他

◎土地の売払いについて



意見書

議員より意見書4件が提出され、全て原案のとおり採択されました。採択のされた意見書は、直ちに内閣総理大臣、その他各大臣等へ送付されました。

◎地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

① 地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」と各府省の地方創生関連事業・補助金、さらには新型交付金の役割分担を明確にするにとともに必要な財源を確保すること。

② 平成27年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費(1兆円)」については、地方創生に係る各自治体の取り組みのベースとなるものであるから、恒久財源を確保の上、5年間は継続すること。

ほか2項目

◎ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

① ICT環境の充実には、WiFi環境の整備が不可欠であることから、活用可能な補助金や交付金を拡充し、公衆無線LAN環境の整備促進を図ること。

② 平成27年度からスタートしたテレワーク関連の税制優遇措置の周知徹底を図るとともに、制度を一層充実させ、拠点整備や雇用促進につながる施策を行うこと。

ほか1項目

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

① 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。特に「骨太方針2015」に「目安」として明記された地方一般財源総額の確保を確実に進めること。

② 子ども・子育て新制度、地域医療構想の策定、地域包括生活ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズ

への対応と、人材を確保するための社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行うこと。特に高齢化による社会保障費の自然増を地方財政計画に適切に反映させること。

ほか3項目



◎ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書

ヘイトスピーチ対策について、表現の自由・言論の自由に十分配慮しつつ、法整備を含めた強化策を速やかに検討し実施する事を求める。



平成27年 第3回市議会定例会議決結果

※賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																						
			自民・創生					新風べっぶ					公明党			市民クラブ		日本共産党議員団							
			9人									7人							4人				3人		
江藤勝彦	三ヶ尻正友	野口哲男	松川峰生	黒木愛一郎	国実久夫	萩野忠好	安部一郎	阿部真一	首藤正	河野数則	山本一成	松川章三	野上泰生	森大輔	小野正明	堀本博行	市原隆生	荒金卓雄	穴井宏二	加藤信康	森山義治	三重忠昭	平野文活	竹内善浩	
議第71号	平成27年度別府市一般会計補正予算(第3号)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議第75号	平成27年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない者は「除」

議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成27年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、9月10日に6名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

ホームページのリニューアルについて

問 別府のホームページは物足りない、何か情報がしつかり伝わってこないというようなことを皆さんからお聞きしますが、その点についてどのようにお考えかお聞かせください。

答 今回のホームページの再構築は、行政情報、いわゆる守りの分野のホームページの再構築ということになります。観光情報は、別に観光課が務めていく形になりますが、この守りの情報、いわゆる行政情報につきましては、必要とする情報がどこにあるかわかりにくい、検索機能が低いといった点が指摘されておりましたので、これらのことを踏まえて、まず目的、必要とする情報がどこにあるか、その到達性をまず改める。それとともに重複している内容等を改めて整理する。それから、観光情報等を含めて、デザイン等も統一する方向で行政ホームページを再構築していきたいと考えております。

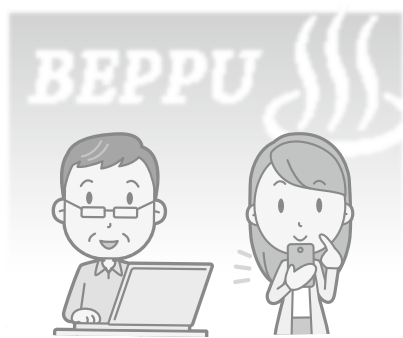
問 再構築に当たってのプロセスがどんな流れになっているのかを教えてください。

答 第1段階といたしましてウェブディレクターを公募型のプロポーザル方式で選定をいたします。このディレクターと言われる業者の方は、行政情報のホームページのデザイン、レイアウト、イメージ等、また行政ホームページの役割とか考え方、こういったことについて提案をしていただきます。

それから第2段階といたしまして、このウェブディレクターの方のデザインイメージに基づきまして、実際のホームページの中身を制作する業者を競争入札で選定するというような流れでホームページの再構築をしていくように考えております。

問 他市などではスマートフォンから情報が入手しやすいような感じになっておりますが、これについてはどうしていくのか。

答 現在スマホ等のタブレット端末、これが非常に普及しておりますので、こういったスマホ、タブレット等の携帯端末に適した画面表示をするような仕組み、これについても導入していきたいと考えております。



9月定例会 会期の経過

- * 8月 _____
- 31日 議会運営委員会
- * 9月 _____
- 7日 本会議（議案上程等）
議会運営委員会
- 10日 本会議（議案質疑、委員会付託）
- 11日 各常任委員会
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 17日 本会議（一般質問）
広報広聴委員会
決算特別委員会
- 25日 本会議（各委員長報告、討論、表決等）
議会運営委員会

亀川駅西口広場整備について

問 一旦立ちどまってとうような話になったようですが、本来の計画がどのようになっているのか、それから、これからのように取り組んでいくのか答弁をお願いします。

答 この事業につきましては、亀川地区都市再生整備計画事業の1つで、国の交付金事業を活用した事業です。現在、都市計画決定をしております。広場の整備を行い、今年度用

地買収等を行う予定ですが、平成29年度の完成予定としております。

問 亀川周辺対策事業によって移転を余儀なくされる方々がおります。そういう居住者に対する市の臨む姿勢についてお聞きします。

答 亀川駅西口広場整備事業や山田関の江線ほか道路整備事業につきましては、基本的に地元の方々の協力なしにはできない事業であります。用地買収、物件移転補償交渉につきましては、誠意を持って丁寧な対応で臨みます。

常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成27年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

総務企画消防委員会

政策推進課関係部分では、観光、経済、産業等の分野で、これまでそれぞれの団体が、それぞれ行ってきた施策を、同じ方向性を持って取り組み、一つの組織として運営できる組織（産業連携・協働プラットフォーム）の設立の可能性等について、調査研究を行いたいとの説明がありました。

危機管理課関係部分については、当局より、災害発生時の災害状況や避難準備情報、及び避難所開設情報の周知、また平常時は、行政情報等をリアルタイムに発信する広報手段の一つとして、市役所庁舎内に生放送用のブース及び映像放送用機器等を設置するとの説明があり、これを了いたしました。



した。

議第87号 土地の売却についてでは、当局より、市営東別府住宅等の解体跡地を売却するもので、公募型プロポーザル方式により実施。売却にあたっては、『市有地利活用提案書に基づき、建築、事業経営等を行うこと』、『引渡しの日から十年間は、指定した用途に供し、所有権移転・貸付については別府市の承認を受けること』など様々な特約条件をつけているとの説明がなされ、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定しました。

観光建設水道委員会

農林水産課関係部分では、本年6月30日から7月1日にかけての梅雨前線豪雨により、椿、枝郷、内成、柳、内

竈、大所、小坂の農地及び水路が被災したことにより災害復旧を行うための経費を計上する旨の説明がなされました。

これに対し、委員から、補助で整備するまで、かなりの期間を要するようだが、それまでに市として対応はできないかとの質疑がなされ、当局からは、応急的な必要があるときは、単独事業で行い、その後、補助事業に組替えを行うこともあるとの答弁がなされました。

都市整備課関係部分では、亀川地区都市再生整備計画事業及び都市計画整備事業の見直しについて報告がなされ、亀川駅西口駅前広場の整備、亀陽泉周辺整備及び山田関の江線外道路整備に係る経費について、それぞれ詳細な説明がなされました。

これに対し、委員から、障がい者に配慮した整備であるかとの質疑がなされ、当局から、十分なバリアフリー対策を講じている旨の答弁がなされました。

議第86号 別府市空家等対策条例の制定については、

当局からこの条例は、空家等の適正な維持管理に関し必要な事項を定めることを目的としたものである旨の説明がなされ、これに対し委員からは、条例第14条に規定する応急措置を行う場所が限定されたものではないかとの質疑がなされ、当局から、市民の危害等を予防するため、運用の範囲内において、柔軟に対応していきたいとの答弁がなされましたので、これを了とし原案のとおり可決するものと決しました。

厚生環境教育委員会

市民課関係部分では、当局より、歳出では社会保障

制度・税番号制度導入に伴うセキュリティに関する整備及び通知カード及び個人カード発行に関する事務機器や人件費を、歳入では、通知カード及び個人カード再発行に係る手数料収入や、個人番号カードを交付する事務費に対する国庫補助金を計上しているとの説明がなされました。

委員より、マイナンバー導

入に伴うセキュリティリスクについての質疑がなされ、当局より、特定個人情報保護委員会での審査を受けて合格しているが、人的なことでの漏出などはセキュリティ研修等を含めて万全の体制をとって厳重にやっていたいとの答弁がなされ、これを了いたしました。

議第84号につきましては、し尿処理場春木苑の更新が予定されており、その施工前に生活環境影響調査を実施、その結果を公表し、お住まいの方々等のご意見をいただきながらいい施設を作るため、その手続を定める条例を制定するとの説明がなされました。

委員からは地元との協議を尊重し、徹底的な情報公開、透明性を確保しながら事業をすすめてもらいたいとの要望がなされ、当局からは大きな経費をかけてやる一大プロジェクトという捉え方をしており議会や地元の方にも納得していただけないようなものを造っていきなるとの答弁がありました。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月議会では15名の議員が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

教員の負担軽減と温泉発電の問題点

日本共産党議員団

平野 文活 議員



問 教員の長期病休者に対して代替教員は配置されているか。

答 平成26年度16名のうち、代替教員が配置できたのは11名です。

問 病休者の大半が心の病であり、背景には「学級の荒れ」などがあり、抜本的対策が必要。特に代替教員の確保は行政の責任ではないか。

答 教員確保は県に強く要望するとともに、市としても今後の課題としたい。

問 小倉地区で地熱バイナリー発電事業が進んでおり、地域住民から住環境が悪くなるという苦情が寄せられている。事業者は「36基で発電」と計画して既に造成や基礎工事が進んでいるが、市の「事前手続き等に関する要綱」の基づく事前相談があったのは何基か。

答 現時点では18基です。

問 そうすると事前相談無しに工事を始めていることになる。法的拘束力のある条例が必要だが、いつまでに制定する予定か。

答 今年度末を目途に制定したい。

問 口径80ミリの泉源でどの程度の発電が可能か。

答 理論上は500キロワット程度と考えています。

問 事業者は2本目の泉源掘削を予定している。温泉資源を守るために市長が動くべきだ。

答 別府市の要望は伝えてあります。今後も継続的に協議してまいります。

別府の温泉・観光・南部地区振興

新風べっぴん

首藤 正 議員



問 別府温泉は地球上にある11種類の泉質のうち、放射能を除き10種類の泉質があると内外に宣伝してきたが、そのとおりなのか。

答 このたび温泉法が改訂

され、旧分類の「含アルミニウム泉」と「含銅・鉄泉」の2種類が削除され、新たに「含ヨウ素泉」の1種類が加えられて差し引き10種類となりました。このうち放射能泉と含ヨウ素泉は大分県内に存在せず、8種類が県内にある温泉となつていきます。別府市には、このうち7種類が確認されましたが、残る1種類の「二酸化炭素泉」については現在確認中です。

問 別府八湯それぞれの泉質を活かした宣伝と活用を図るとともに温泉を中心にしたその地域の産業・歴史・文化等を徹底的に掘り起こし、観光に寄与するとともに地域活性化を図るべきではないか。

答 泉質や適応性により、温泉を楽しんでいただけるよう温泉地の特徴などの情報提供が出来るよう検討します。また、地域の産業・歴史・伝統・文化等の掘り起こしは、観光資源や町おこしの出発点となりますので、実施します。

問 南部地区振興対策は喫

緊の課題だが、今後どのように進めていくのか。

答 庁内に「南部の産業・歴史・文化・伝統を掘り下げ、未来に繋げるプロジェクト」を設置しました。現地把握や住民意見の整理を行い、来年度以降、プロジェクトチームの提言等を踏まえ、南部振興の基本構想と実施計画を策定し、具体的な施策を実施していきます。



リニューアルされた不老泉



環境行政について

公明党

市原 隆生 議員



問 ごみの収集時間が定まっていないため、「カラスや猫に荒らされないように収集の直前に出すようにしている」という市民からの苦情をお聞きしている。私自身も時間差があると感じているが、収集時間を一定にすることはできないか。

答 概ね決められたコースを順番に回るようにしていますが、天候や交通状況、またごみの排出量等によって収集する時間帯が多少ずれることがあります。なるべく一定の時間を守っていきたいと思いますが、朝8時30分までに所定の場所に出していただくという排出ルールを設定し、ご協力をお願いします。

ております。

問 「燃やすごみの指定袋が以前に比べて弱く、結んでいて引つ張ったら切れた」という苦情もお聞きしている。以前から指摘されているが、未だに改善されていないようだ。また、別府市内には一人暮らしの高齢者も多く、現在の「小」の袋でも大きいという方も多い。これからますます高齢化が進み、需要も高まると思う。「小」の半分の大きさのごみ袋を作っていたらいいか。如何か。

答 平成21年度より厳しい基準を設けていますが、今後もごみ袋の品質保持に努めます。ごみ袋に対する考え方も変化してきていると思います。10〜15リットルのごみ袋の導入を考慮した上、今後はごみ袋アンケート調査を検討したいと考えています。



教育委員会制度改革

自民・創生

松川 峰生 議員



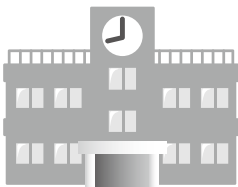
問 教育委員会制度改革は2013年におきた大津市のいじめ自殺事件を契機に教育委員会の対応が批判されたこともあり、制度を見直す動きが本格化し、結果的には教育委員会が引き続き最終的な決定権を持ちつつ、同時に市長の権限も強化する方向での改革が行われた。これまで教育委員会を代表する教育委員長と実際に事務を執行する教育長との関係がわかりにくいという批判に対し、教育委員長と教育長の果たした役割を新しい新教育長に一本化することになった。結果、地方行政の責任者である市長と新教育長や教育委員会との連携が強まることで、

教育行政の透明化、教育環境の充実、責任の明確化、権限と責任の一致さらに市長の掲げる政策と一貫する教育行政を企画・推進することが期待できると思うが、この教育委員会制度をどの様に考えているのか。

答 今回の制度の導入によりまして、教育行政の責任がより明確化されます。また、常勤の教育長となりましたので、学校現場や市長との連携をよりスピード感を持って迅速に教育行政の推進に努めることができるものと考えております。

問 新教育長と市長の関係はどのようになるのか。

答 教育委員会の権限や政治的中立性は、これまでどおり確保されますが、今回の法改正の趣旨を受け、これまで以上に連携を密にしていかなければならぬものと考えております。



ICTを活用した市民協働

公明党

荒金 卓雄 議員



問 4月から道路河川課が運用している「フィックス・マイ・ストリート」とは。

答 市民がスマートフォンアプリケーションを利用して、道路破損の現場を撮影し、簡単な説明を入力してメール送信します。受信した同課のパソコン画面で、写真と場所が確認できて迅速に補修対応ができるシステムです。電話説明などが不要で、市への通報が夜間・休日でもできます。

ICT(情報通信技術)を活用した新しい「市民協働」として定着させてほしい。

問 鶴見岳・伽藍岳の火山噴火の可能性は。

答 全国の110の活火山のうちで、鶴見岳・伽藍岳は「常時観測火山」に選定されており、福岡管区気象台が、地震計・遠望カメラなどで、24時間体制で常時観測・監視しています。現在は静穏な状況で、噴火の兆候はみられません。



問 登山届の現状は。

答 中腹の火男火売神社の奥と、エコーライン峠付近に記載台を設置し、また、事前に別府警察署へ届出ること、インターネットでの届け出も可能です。登山届の提出を義務化はしていませんが、今後、届出促進の取組みを強化する方針です。

西小の跡地活用と統合後の問題について

自民・創生

黒木愛一郎 議員



問 西小・青小統合後の西小の状況について伺いたい。

答 跡地については山の手、浜脇の統合中学校の校舎として準備を進めます。

問 新中学建設まで数年の時間がかかかると思うので、その間の活用をどのように考えているか。

答 解体まで2〜3年あるので、これまでと同様に地域の皆様に利用していただきたい。

問 西校区には統合型地域スポーツクラブ「にこしんクラブ」があり、地区体協と融合して、スポーツを中心に地域づくりに貢献しているが、統合後の地区体協

のあり方について伺いたい。

答 統合後は地域のつながりを大切にする上でも西と青山が1つになれるように話し合いを進めて、教育委員会も積極的に調整をしていきたい。

自然と共存、地域で支えるまち

日本共産党議員団

竹内善浩 議員



問 子ども医療費助成制度で中学生までの通院費は無料化にして欲しい。

答 市単独での実施は難しいため、県市長会において、本市から県の助成制度の拡充について提案しましたが、現在継続審査となっております。

問 普通学級を初め、小中学校にエアコンを設置して欲しい。

答 単体設置などの方法も考え、市長と教育長との連携のもと、継続検討していきます。

問 計画中の大規模太陽光発電施設にしっかり対応して欲しい。

答 「新エネルギー導入の事前手続等に関する要綱」を遵守するよう指導、また、自然災害による環境影響を想定し、事業者に要請していきます。

問 地域包括支援センターの充実により、高齢者市民の命と暮らしを守って欲しい。

答 計画に基づき、市内7か所の地域包括支援センターが充実し、各地域が活性化するように、精神保健福祉士などの専門職の配置や、各地域間での連携を考えていきたい。

なお、一部地域で、医療福祉の連携を図る活動を始めました。

問 人工呼吸器などの電子医療機器を使っている避難

行動要支援者は、不安なく避難できますか。

答 地域の援助も、市民一人ひとりの防災意識と自助努力も必要です。

他職種が協力して、避難行動要支援者ごとの個別計画の策定を進めます。

防災体制のネットワークをつくり、市民や市職員など、皆で支え合うことの必要性を啓発し、努めていきます。

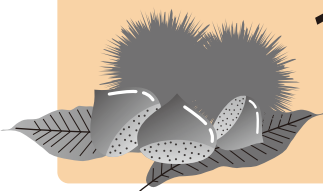
第4回 定例会の日程

次回の定例会は

12月7日(月)から
12月18日(金)まで

を予定しております。

※日程は変更することがあります。



亀川まちづくり事業

新風べっぶ

河野 数則・議員



問 亀川まちづくりは継続すべき事業であり、見直しをする必要はないと考えていたが、仮に見直すとしても、事業継続しながらでもできたと思う。今回、一度立ち止まることにより何が見えたのか尋ねたい。

答 亀川地区都市再生整備計画事業では、浜田公園整備の取り止め、亀陽泉整備事業の精査、山田関の江線外道路整備事業についても詳細調査等により、合わせて2億円程度縮小され総事業費約18億円となります。

問 南海トラフ地震を想定すると防災減災の面から事業見直しをするべきでない

と考える。完成へ向けて進んでいくことをお願いしたい。

答 今後においても、国・県と協議をしながらしっかりと完成へ向けて取り組んでいきたいと思えます。

問 市長就任挨拶の中から、職員の不祥事について努力をされていると思うが、人は礼に始まり、礼に終わるという挨拶が基本と考える。そこですばらしい運動を紹介します。亀川小学校ではワンストップ・ワンペコリというお辞儀を伴う丁寧な挨拶運動を実施しており、校内だけでなく地域住民に対してもきちんと挨拶を児童が行い、清々しく感心させられる。この運動に見習うところがあるのではないか。

答 このすばらしい挨拶運動に見習い、挨拶の大事さを受け止め努力していきたい。



胃がん対策とピロリ菌検査

公明党

穴井 宏二議員



問 別府市の胃がんのり患状況、検診の受診率はどうなっているか。

答 新たな胃がんのり患状況は、推計で年間約60人と微増しており、26年度の受診率は8・9%でした。がん対策は早期発見・早期治療が重要です。

問 胃がんの主な原因といわれているピロリ菌に感染しているか調べる方法として抗体検査及びピロリ菌治療の保険適用範囲はどうなっているか。

答 感染診断の検査は、血液や尿、尿素呼吸試験などがあり、これまでは胃潰瘍や十二指腸潰瘍でしたが、

平成25年2月より胃炎が追加されており、内視鏡検査の結果ピロリ菌感染が疑われる場合、検査や除菌治療に保険適用されています。

問 胃がんの発生の原因のほとんどがピロリ菌と学術的にも言われている。医療費削減、胃がんを未然に防止するという意味からも身体に負担が少なく手軽に受けられる血液抗体検査を他市で助成をし、導入している自治体もある。身近な病院で安価で受けられることから別府市においても導入を検討してもらいたい。

答 胃がんによる死亡の増加、受診率の低迷等から胃がん対策の推進のためピロリ菌検査の実施について医師会の協力をいただき検討しているところです。



公共施設と公園等のトイレについて

自民・創生

萩野 忠好議員



問 現在、高齢者が大変増えてきており、トイレの問題が生じております。年を取っていくと腰や足の不自由な方が多くなり、和式から洋式のトイレが欲しいと聞いている。公共施設の公民館のトイレについて伺います。

答 西部地区公民館男3(うち洋0)女6(洋1)多目的1、南部男6(洋3)女9(洋3)多目的1、北部男5(洋1)女9(洋1)多目的2、朝日大平山男3(洋1)女7(洋3)共用2(洋2)、中央公民館改修後は男4(洋3)女8(洋6)多目的3(洋3)共用1(洋1)で合計79のうち洋式23、多目的

11男女共用5のうち洋式4です。

問 和式が多いですね。今後は洋式を増やさないと皆様方は不便を感じる事が多く、洋式に変える考えはないか。

答 洋式のみを増設する計画はありません。今後は市民特に高齢者、障がい者からの要望に応え考えていきたい。



西部地区公民館

問 公園のトイレは何箇所設置で洋式トイレに改修する計画がありますか。

答 全公園167箇所の内、

合計37箇所の公園に合計45箇所のトイレが設置され、障がい者も使える多目的トイレが29箇所あります。今後、アンケート調査等を行い、計画的に整備を考えていきたい。

問 年々増やしていくことが大事です。増やしてください。幼稚園と小中学校のトイレの設置はどのようですか。

答 和式合計615、洋式384です。

別府市総合政策アドバイザー制度とは何か



新風べっぴん
やまもと かずなり
山本 一成 議員

問 別府市総合政策アドバイザー制度とは何か。

答 別府市では政策課題に關して、市長の求めに応じ

て専門的な立場から助言又は提言をいただくためのアドバイザー制度です。

問 具体的な活動実績は。

答 4回開催されたべっぴん「感動・共創・夢」会議への直接の出席で延べ18人、市民拡大版に1人、会議ワーキンググループに2人、会議打合せで2人、延べ合計23人、その他の出席が延べ12人となっております。

行政改革について



自民・創生
あべ しんいち
阿部 真一 議員

問 多くの市民にとって、市役所の手続きは慣れない複雑なものだと感じていると、1階及びグランドフロアを訪れる市民の皆様の声を良く耳にする。申請など

の手続き等で、多くの課をまわり、時間がかかり、不安にさえ感じるのでないか。この様な現状を市としてはどの様に捉えているのか。

答 プロジェクトチーム「窓口変われば、市役所変わる」を設置し、できることはすぐにやる。現場に顔を出すという方針でやっている。苦情の事前調整を行っているフロアマネージャーや電話交換手の意見をプロジェクトチームの提言に入れたと考えている。

問 そこで多くの市民の皆様が訪れる市民課・課税課・保険年金課他福祉児童関係の窓口を全てワンフロアにすることが望ましいが、グランドフロア・1階に分散されている。構造上やむを得ないところもあるが、市民サービス向上の為にワンストップ窓口が一番だと思ふ。今後どの様に取り組むのか。

答 市役所は究極の市民サービスを提供する、別府市の中で一番の会社になら

なければならぬ。ワンストップサービスを始め市民サービス向上のために、しっかりと努力し、必ず実現したい。

山間部道路の改修、温泉を守るために



市民クラブ
かとう のぶやす
加藤 信康 議員

問 山間部道路は居住者も高齢化する中で管理も出来なくなっている。山間部の道路については、状況を確認し、拡幅計画や改修計画を立て改修していく必要があると思ふが、地域要望などをどう把握し、どう計画を立てているのか。

答 現在、国の交付金を活用し年次計画で道路改良を実施しており、今年度より県道「別府一の宮線」鳥居の交差点から東山小中学校

までの間を拡幅し、通学路の歩道整備を行っています。その他、地元自治会などから要望のある舗装の修繕や水路の部分改修など、危険な箇所などから、改修工事を順次行っています。他にも改修の必要な箇所も多く、今後も自治会などの協力を得ながら、危険箇所の把握や、適正な管理に努めていきます。



問 市独自の温泉資源調査やデータ蓄積が必要と思うが、どのように考えているか。

答 温泉課においては温泉資源調査データの集積は行っていないが、今後、市で維持管理を行っている泉源について、大分県とも調査内容、調査方法、調査場所などの協議を行いながら、市独自の温泉資源の調査について、検討していきたい。

まちづくりの基本は
行財政改革

自民・創生

安部 一郎 議員



問 南部振興開発ビル管理業務委託について、収入と委託管理費を教えてください。

答 家賃・駐車場代金 約5千4百万の収入に対して約2千万円維持管理費を使っています。



図書館などがある南部振興開発ビル

問 保守管理業務の約9百万の再委託先（エレベーター・メンテナンス等）を見ると15件あります。なんと再委託先の業者8社が市外業者で、約630万のお金が市外に流れています。何故、本庁舎のように分離発注しないのですか。また、何故別府市の業者に発注、競争入札させないのですか。指定管理委託を考えていませんか。

答 指定管理者制度の対象となります。「公の施設」に該当するかどうかも含めて管理委託の方法を検討して参ります。

問 市有財産売却について、手続きの問題を提起します。市有財産の売却について同じ方式をとりますか。過去のプロポーザル方式の問題をどのように捉え改善する余地はありませんか。

答 公平性・透明性・客観性などをより高めるため、選定委員に市民や有識者などを加え、事業者の実績を加味するなど、全体的な仕組みづくりについて関係各

課と協議しながら検討して参ります。

地方創生事業を
めぐる課題

新風べっぶ

森 大輔 議員



問 今回のプレミアム商品券発行事業において、別府商工会議所が執った商品券換金手数料業務を問う。ある自営業者から「商工会議所は会員さんには無料で商品券を換金する一方、非会員さんには2%の手数料を取る」と不満の声を聞いた。非会員さんから手数料をとる目的はなにか。

答 換金手数料をとる目的は、商工会議所への新規加入の促進です。

問 国の交付金事業を利用して会員を増やそうとするやり方に嫌らしさを感じた

自営業者は少なくない。「商工業界全体の奉仕者」であるはずの公益団体が、会員と非会員を区別して待遇に優劣をつけては商工会議所の倫理観が問われかねない。この事業は国だけでなく、県と市も財政負担をしている。商工会議所に支払う委託料はいくらか。

答 印刷料や人件費等で2700万円の委託料を計上しています。

問 別府市の人口推移の予測を問う。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年には別府市の人口が10万人を下回ると予測されている。ではそうならない為に、人口を10万人以上維持するのに必要な出生率はいくらか。

答 2030年までに人口置換水準の合計特殊出生率が2.1まで上昇し、転入・転出の差し引きが0で推移した場合、推計値で2040年に別府市の人口を10万人以上維持出来ると試算出来ます。

「市民と議会との対話集会」へのご参加 ありがとうございました



市民の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、「市民と議会との対話集会」に参加をいただき、誠にありがとうございました。

今年は、中山間地域を含む13会場での実施となりました。

皆様からは、人口減少・高齢化による地域コミュニティー崩壊の不安、防災・災害に対する危機意識、議会としてのあり方等、貴重なご意見・ご提言・ご要望をいただきました。

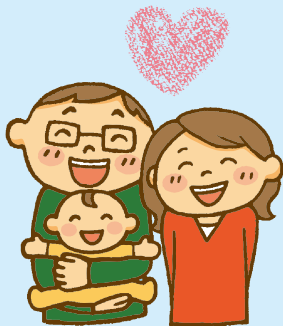
皆様のご意見等は、議会として将来に向けての発展ある議論に繋げてまいりたいと考えています。今後とも皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。



南部地区公民館



椿公民館



別府市議会会議規則を一部改正しました

議員が男女の区別なく出産に伴い議会を欠席できるようにし、男女共同参画を考慮した議員活動の促進をするため、会議規則を下記のように改正しました。

会議規則第2条に次の1項を加えました。

議員は、出産(配偶者の出産を含む。)のため、出席できないときは、期間を定めて、あらかじめ議長に届け出ることができる。



編集後記

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。市議会は今年度も「市民と議会との対話集会」を開催しました。また今回は中山間地域でも開催し、多くのご意見・ご提言を始め、様々な課題も知ることができました。頂いた貴重なご意見等をしっかりと活用していきたいと考えています。

さて、今「市議会だより」より一般質問者の顔写真を掲載することといたしました。また常任委員会・特別委員会の更なる情報発信に向け、各委員会の委員長報告を市議会公式ホームページに新たに掲載することといたしました。

今後とも議会の活性化はもとより、開かれた議会、市民の皆様にとってもわかりやすい議会を目指し、一層の努力を尽くしてまいります。

今後とも宜しくお願い致します。

広報広聴委員会

副委員長

三重

忠昭